

# 2010年8、9月勉強会です！



## トイレの記憶はどうなるのだろうか？

### —認知障害と排泄ケア—

今や、医療・看護・介護の現場で高齢者のケアを行う際に、認知症は必ず隣り合わせといっても過言ではないと思います。認知障害のある患者さん、利用者さんに全く接したことがないという方は、今や稀でしょう。勿論、ご家族にも地域にも身近にある問題として捉えている方も多いのではないのでしょうか。

認知症は記憶の障害ですから、排尿行動に関連した習慣・動作や環境についての記憶についても障害が現れます。また、究極には神経が障害されますから、神経疾患としての排尿障害も関連が出てくるでしょう。そしてもちろん、認知機能に関わらず、加齢に伴う膀胱機能自体の障害による排尿障害も同時に存在している可能性があります。排泄ケア研究会に参加される皆さんは「ボケちゃったなら、オムツにしておけば」とはよもや発想されないだろうと思いますが、トイレへの誘導一つをとってもどのようにすればいいのか？日々お困りのケースがたくさんあると思います。改めて認知症とは？そして排泄ケアをどう考えるか？学びましょう。

- ・ 会員は勉強会参加に関しては、何度の受講においても無料です。
- ・ 非会員の方でも1000円で聴講が可能です（事前申込不要）。